

ラーニング・コモンズを利用した 初年次教育での図書館ガイダンス

新潟大学経済学部
中東 雅樹

初年次教育における図書館ガイダンス

① スタディ・スキルズにおける基幹項目の1つ

- ・ 図書館:「大学以降の学習」における情報源
- ・ 図書館情報:レポートにおける「証拠」
→ 情報の種類と利用タイミングの理解

② 大学図書館利用の出発点

- ・ 図書館の利用方法の修得
- ・ 情報源へのアクセス方法の修得

これまでの図書館ガイダンス

- ・ 1コマの講義形式(情報の種類とアクセス方法の教授)
- ・ 情報検索の実演

ラーニング・コモンズでのガイダンス

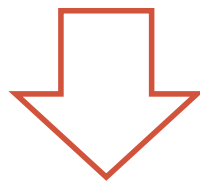
附属図書館での実施による 『スタディ・スキルズの実質化』

- ① 講義＋実習形式
- ② 図書館ガイダンスのコマ数の増加
 - 第1回：文献検索＋図書館での文献探索
 - 第2回：論文検索＋テーマ探し実習
- ③ 図書館の利用実習
- ④ 情報の種類や利用タイミングの基礎を教授

実施における障害への対応

問題点

- ◆ 講義に不向きなスペース
- ◆ 学生数(102名)の収容 & 限られたPCの台数

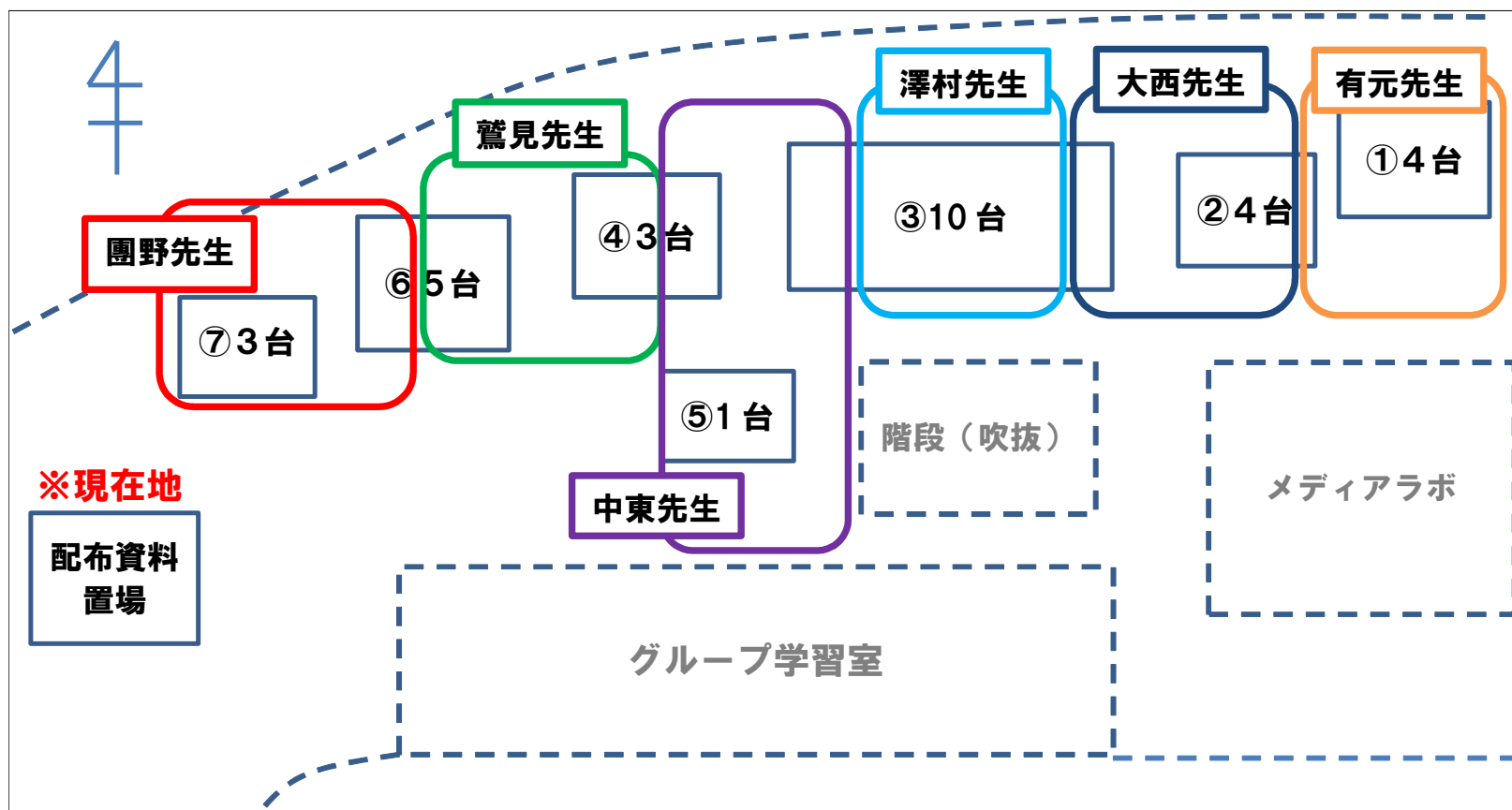


- ① 図書館スタッフとの相談・協力依頼
- ② ラーニングコモンズでの授業環境整備
 - ・ スクリーンの設置(2台)
 - ・ 配席表の作成

配席表

スタディスキルズ（経営学科）クラス別座席配置図

場所：附属図書館 3 階ラーニング・commons



クラス別使用PC 有元先生：① 4台&② 1台, 大西先生：② 3台&③ 2台, 澤村先生：③ 5台
中東先生：③ 3台&④ 1台&⑤ 1台, 鷺見先生：④ 2台&⑤ 3台, 團野先生：⑥ 2台&⑦ 3台

図書館ガイダンスの実施風景①



図書館ガイダンスの実施風景②



図書館ガイダンスの成果

成果①: レポートでの利用文献の変化

	書籍	論文	書籍 or 論文	提出数
2012 年度	51	20	62	110
	46.4%	18.2%	56.4%	
2013 年度	95	20	97	102
	93.1%	19.6%	95.1%	

成果②: 図書館の利用頻度の増加

多くの学生が図書館を利用(テーマ発見の自習)

ラーニング・コモンズ利用の意味

- ① 講義と実習をつなぐ場所
学習即実践の場
- ② 百聞は一見にしかず
見て、聞いて、触れる授業体験
- ③ 転地効果
普段の授業と異なる雰囲気での授業

最後に：図書館スタッフへの感謝

今回の取り組みはスタッフの協力があったからこそ成し得た